

STOP! いじめ・モラルのない携帯・スマホ利用～今、子どもたちの目の前にある**危機**～

近年、急速なスマートフォンやタブレット型端末の普及により、これらを所持する人の生活スタイルやコミュニケーションのとり方が大きく変わってきます。小中学生においても、所持する子どもは、生活が夜型で睡眠不足の傾向が顕著であったり、ネット依存症に陥ったり、いじめや出会い系・有害サイトへのアクセスによるトラブルが危惧される状況にあります。

☆多くの場合、利便性と危険性はセットで、使いこなす能力と責任がなければ、深刻なトラブルにつながる。

☆人格の形成期にある子どもは、目の前にいる人、自然体験や温かみのあるふれあいを大切に、ネットに依存しない環境を大人が責任をもってつくること。

を、大人全体が共通認識し、「手遅れ」とならないように、子どもの自律が進むまで安易に与えないことを確認する時期にきています。

<お子さまが、携帯電話等を所持していない場合>

○小中学生のうちに、学校生活や友人関係で所持が不可欠となることはありません。

お子さまの**自律度**を総合的に見て、所持の時期を判断しましょう。

「**与えて、様子を見る**」という態度は**不適切**です（ゲーム機と同じではありません）。

<お子さまが、すでに携帯電話等を所持している場合>

●「健やかな子どもの成長」に第一義的責任を負う保護者の権限として、その利用はきちんと把握する必要があります。出会い系・有害サイトの被害者やネットいじめの加害者・被害者にならないために、使用時間、通話・通信料、通信内容のチェックは、**家庭のルール**として定めましょう。

*18才以下の携帯電話等には、**フィルタリング設定が義務**となっています。

★トラブルに巻き込まれた子どもの約95%は、「**フィルタリング設定をしていなかった**」という統計上の数値が示されています。フィルタリングは万能ではありませんが、トラブルに巻き込まれるリスクを減らすことができます。

●ネットやゲーム依存による**夜型の生活**は、子どもの心身の成長にとって

「百害あって一利なし」です。基本的な生活のリズムの乱れは、「**無気力**」「**無関心**」な学校生活につながり、「**学力の低下**」や「**友人関係のトラブル**」の誘因にもなります。

夜12時には熟睡し、「**早寝・早起き・朝ご飯**」を合い言葉に、子どもの**目が輝く**生活習慣の構築に努めましょう。

子どもたちは好奇心旺盛です。その欲求にしたがうのではなく、

確かな歩みを進め「**子どもが安心して学べる環境**」を社会全体でつくっていきましょう。